



今まで走り屋で足まわり専門のイメージがあったコルスだけ、今年はエアロパーツについても力を入れていくそう。で、第一弾としてはR33のスポイラー。グループAタイプのアロミラーもある。



「うちのGET車高調整なら、ここまで車高を落とせます」とコルスの諸岡さん。シャコタン度は間違いなくGET・R33が一番でしょう。



P163でも告知しているけど、改めてスーパーバトルロイヤルをよろしく。なんてたってかわいいレースクイーンもいるし。しかしこんなポーズを取っていると、ひとが周りに集まってくる。オネーサンは何でもないようだったけど……。

コルス、バトルロイヤルをヨロシク

というわけで、スカートも巻くってみる!?



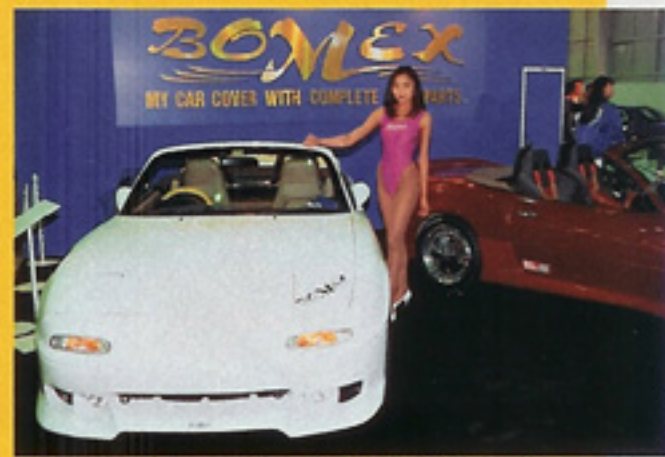
ダンロップのブースでは、ニューM3のN1耐久仕様がお目見え。グリルにはお飾りも付いていた。やっぱりM3はカッコイイばい。

ニギヤカ、ワイワイのトライアルにやってきました。マッキー牧原さんのノリも最高です。牧原さんもアイちゃんも元気でした。



エアロボディもナイスさんす

アリゲーターでしばし立ち尽くしてしまおう。



RSヤマモトS14やアミューズのスーパーなど、BOMEXのエアロパーツが装着されたショップのデモカーを、十数台も展示していたアリゲーター。ロードスターもアリゲーターがやるといなる。



注目を浴びまくっていた桜井リナちゃんは22歳。身長は165cmで、サイズは上から83、57、84だ。カメラマンのSサンは、後ろ姿にもググッときたと言っていた。同感。かなりソノられました。

横幕さんはへとへと、フラフラだった…

正月もなく働さまくった疲れ? 横幕さんは立ちながら意識がなかった。

横幕さん、あれっ、寝てる…



ショーの締めくくりは巨匠、山本氏のお言葉

このショーを山本さんに総評してもらおう。

以上、駆け足でオートサロンのダイジェスト版をお送りしましたが、いかがだったでしょうか。全体的に低調ムードのモーターショーと違い、何でもアリアリのオートサロンは、最高に楽しめた。会場の熱気が少しでも伝われば幸いです。最後にベストチューナー賞のRSヤマモトの山本さんに、オートサロンの総評を聞いてみると、「うーん、ボディ外観はいいけれど、エンジン等の内部は手を入れていなかったり、あまりイジっていないクルマが多いのが気になったね。みんな時間がなかったという事情もあるんだろうけど、どちらかといえば、このショーに間に合わせだけのクルマが多かったように見えたのが残念といえば残念だね」とのことでした。



ベストチューナー賞の山本さん。RSヤマモトGTS-25はR33で300km/hオーバーの実力を持つ。取材を終えてから、ベストチューナー賞というのは、超カッコイイ賞だと思った。

コンプリートカー部門のグランプリ、ヴェイルサイドのエボリューション・スーパーだ。今回はスーパーをモディファイするショップが多かったけれど、ここまで力のあるマスクはなかった。エンジンはTD06-18 Gツインで540psだ。さらにドレスアップ部門でもGT-R・DTMバージョンが優秀賞に選ばれて、横幕さんも2度ビックリしたって。オンナの口の衣装も含めて、チューニングショップのイメージからかけ離れたブースが印象的だった。



スーパーは、正月返上、寝る間も惜しんで作り上げてきたという。カップを手にした横幕さんは嬉しそうだったけど、各誌の取材攻勢で、かなり疲れているようでした。お疲れさまです。

名取貴子ちゃん(右)と、中島操ちゃん。衣装は「Kansai」の(HKS関西じゃないぞ)。モノスゲー高いモノらしい。ホイールは3月から発売する横幕さんがデザインしたもの。

